

5-6 防災まちづくりの将来像及び取組方針

1) 防災まちづくりの将来像

本計画では、基本方針において「安全・安心な都市の形成に向けた防災まちづくり」を掲げており、中長期的な居住者の安全を確保するハード・ソフト両面の取組により、子どもから高齢者まで誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指すこととしています。

また、国土強靱化地域計画や地域防災計画と連携するとともに、避難環境の拡充や住宅の防災性向上をはじめとする効率的・効果的な防災・減災対策に取り組みます。

2) 取組方針

将来像の実現に向けて、災害リスクに基づく課題を踏まえた取組方針を以下の通り設定します。

課題① 内陸沿岸部は人口密度が高く、津波・高潮の浸水被害が大きい

▶ **取組方針①** 浸水による人的被害を低減する対策を講じる

課題② 津波・高潮の浸水想定区域に要配慮者利用施設の立地がみられる

▶ **取組方針②** 要配慮者の迅速な避難ができるような施策を講じる

課題③ 芦田川沿いの河岸侵食のおそれがある区域に住宅の立地がみられる

▶ **取組方針③** 家屋倒壊による人的被害を低減する施策を講じる

課題④ 高潮浸水により、3日以上孤立する区域が一部でみられる

▶ **取組方針④** 3日以上の高潮浸水の継続による人的被害を低減する施策を講じる

課題⑤ 内陸沿岸部で、高潮浸水により、建物の2階以上の床上浸水が想定される区域がみられる

▶ **取組方針⑤** 迅速な避難ができるような施策を講じる

5-1
防災
指針5-2
水害の
基準5-3
ハザード
の整理5-4
リスク
の分析5-5
課題の
抽出5-6
取組
方針5-7
取組
施策

課題⑥

芦田川流域付近では計画規模降雨の洪水で被害が想定される区域において、人口密度が高い区域がみられる

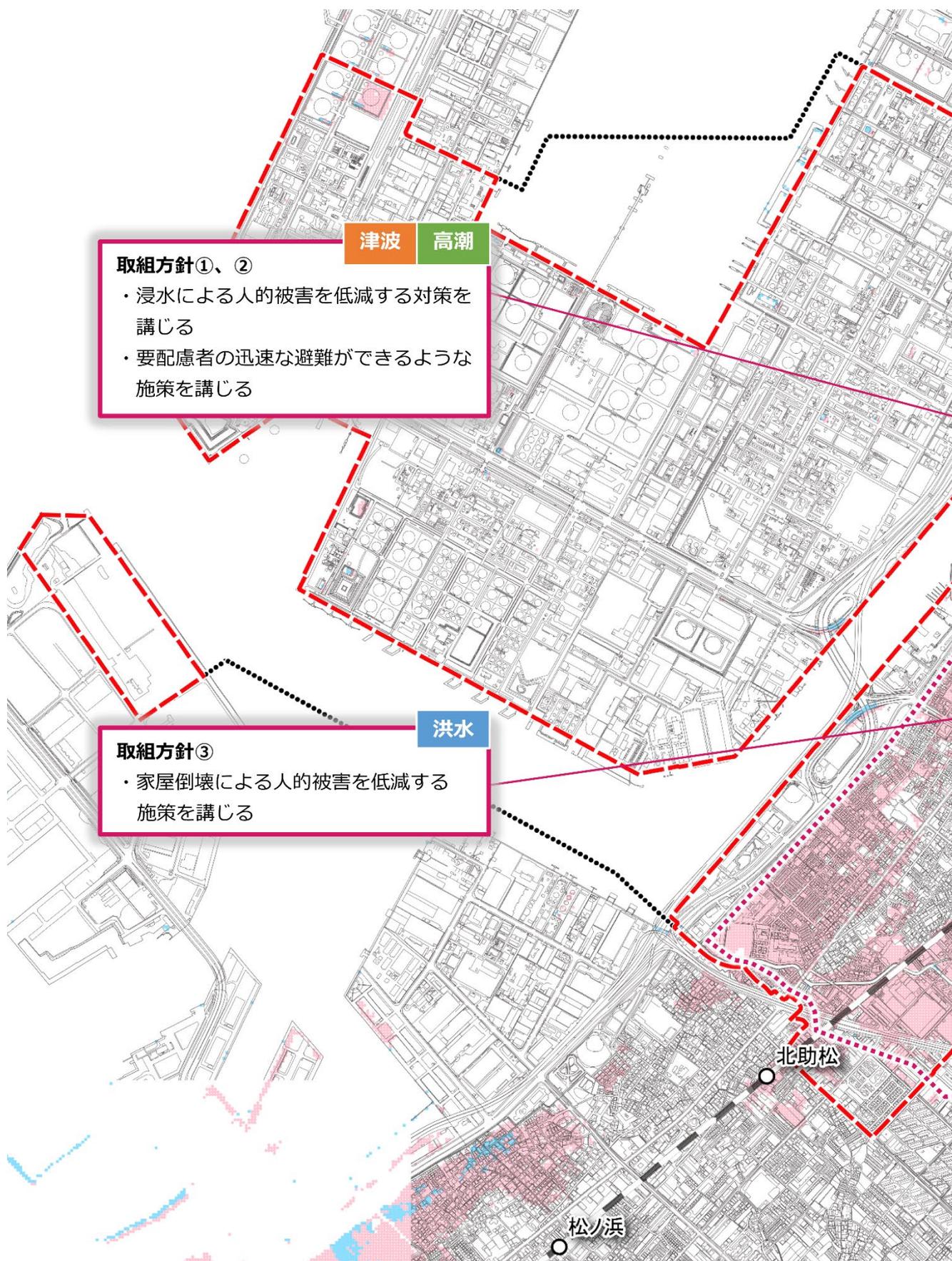
▶ 取組方針⑥ 高頻度の浸水に対応した施策を講じる

課題⑦

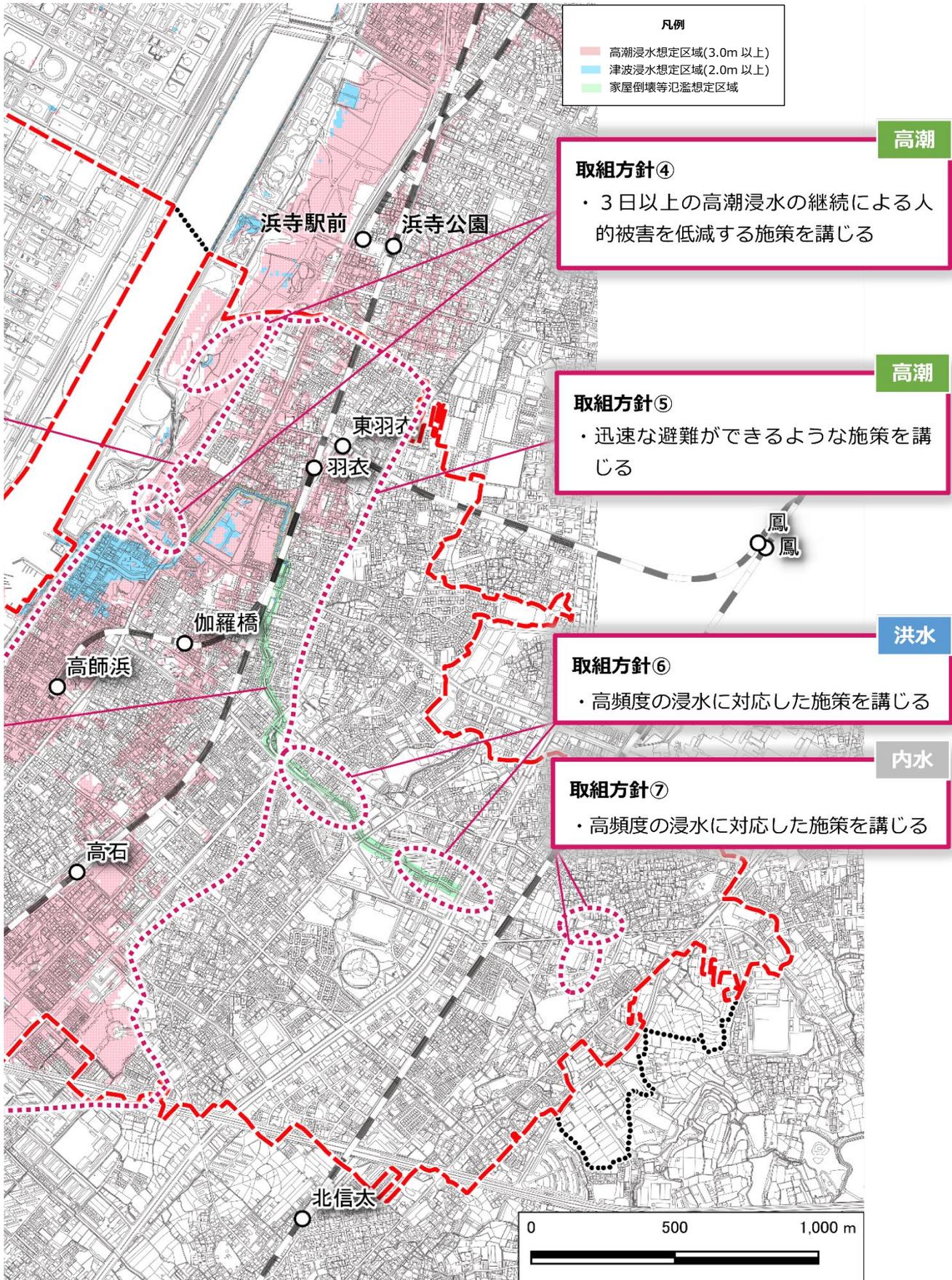
芦田川流域付近では計画規模降雨の内水で住宅地が浸水するおそれがある

▶ 取組方針⑦ 高頻度の浸水に対応した施策を講じる

■ 取組方針図



5-1 防災 指針	5-2 水害の 基準	5-3 ハザード の整理	5-4 リスク の分析	5-5 課題の 抽出	5-6 取組 方針	5-7 取組 施策
-----------------	------------------	--------------------	-------------------	------------------	-----------------	-----------------



5-7 具体的な取組施策

防災における課題や取組方針、居住誘導区域の災害リスクにおける区域設定の考え方を踏まえて、本指針における施策を以下の通り設定します。

取組の 時期	該当 課題	該当 課題	施策 番号	具体的な取組	実施 主体	実現時期の 目標		
						短期	中期	長期
災害発生前	災害リスクの低減（ソフト）	①⑤	(1)	津波浸水による建物倒壊の危険性を啓発し、発災時に津波避難ビル等に避難できるようにハザードマップを配布し活用を促進する	高石市	→		
		①③④ ⑤⑥⑦	(2)	市民の防災意識の向上を図るため、定期的な啓発活動や避難訓練を実施する	高石市 住民	→		
		②	(3)	要配慮者の避難生活を支援するため、福祉避難所の指定とともに、福祉避難所の運営支援などを検討する	高石市	→	→	
		②	(4)	高齢者や障がい者などの要配慮者一人ひとりが、迅速かつ的確に津波から避難できるよう、関係団体等とも連携を図り、津波に対する知識の普及・啓発や避難誘導に関する支援体制の充実に努める	高石市	→	→	→
	災害リスクの低減（ハード）	①⑥⑦	(5)	災害発生時に市民が適切な避難ができるよう、避難経路等の危険箇所の改善や歩道の整備・改良等を進める	高石市	→	→	→
		①	(6)	大規模震災に備えて、住宅の耐震診断、耐震改修や津波に強い構造の建築物等の建築を促進・誘導し、戸建住宅の鉄筋コンクリート建築物の新築・建て替えに対して、税の軽減等による支援を行う	高石市	→		
		①	(7)	津波や高潮による市街地等への浸水を防ぐため、大阪府と連携して都市基盤施設の点検整備、老朽化対策、耐震対策等を進める	大阪府 高石市	→	→	→
		⑥	(8)	河川整備及び既設貯留施設（東羽衣調節池、高石中学校）、洪水調整施設の整備により、流域全体において時間雨量 80mm 程度の降雨に対して床上浸水を防ぐ	大阪府 高石市	→	→	→
		③	(9)	大雨による洪水及び市街地での浸水を防ぐため、河川整備、雨水管及び雨水貯留タンクの整備、下水道施設の整備、都市基盤施設の老朽化対策を実施する	大阪府 高石市	→	→	→
		①③	(10)	避難時の安全性向上を図るため、災害発生時に市民が適切な避難ができるよう、避難経路等の危険箇所の改善や歩道の設置整備・改良、防災空間としての都市公園整備や防災対策協力農地の登録等を推進する	高石市	→	→	→
		②	(11)	津波・高潮浸水想定区域内の要配慮者利用施設の移転を促進する	高石市	→		
	災害リスクの回避	③④⑤	(12)	土地売買等の仲介となる不動産事業者等に対する災害リスク等の周知を行う	高石市	→		

5-1 防災 指針	5-2 水害の 基準	5-3 ハザード の整理	5-4 リスク の分析	5-5 課題の 抽出	5-6 取組 方針	5-7 取組 施策
-----------------	------------------	--------------------	-------------------	------------------	-----------------	-----------------

取組の 時期	該当 課題	該当 課題	施策 番号	具体的な取組	実施 主体	実現時期の 目標		
						短期	中期	長期
災害発生後	災害リスクの低減 (ソフト)	②	(13)	避難情報の発令は避難行動要支援者に配慮し、防災行政無線、Lアラート、緊急速報メール（エリアメール）等によって周知を図る	高石市	→		
		①	(14)	防災行政無線やLアラート、フルセグ、衛星通信等を活用した伝達手段の多重化・多様化を図る	高石市	→		
		全体	(15)	庁舎が使用不能な場合、電気が使用不能な場合等、業務資源が使用困難となった場合を想定し、自治体クラウドを利用したICT-BCPの策定を検討し、行政データのバックアップ対策を講じる	高石市	→		

■具体的な取組施策

課題①内陸沿岸部は人口密度が高く、津波・高潮の浸水被害が大きい

取組

- ハザードマップの配布と活用促進
- 定期的な啓発活動や避難訓練の実施
- 避難経路等の改善や歩道の整備・改良等の推進
- 税の軽減等による津波に強い住宅の建築の促進・誘導
- 避難経路等の改善や歩道の整備・改良及び防災空間としての都市公園整備や防災対策協力農地の登録
- 災害発生時の伝達手段の多重化・多様化

取組

- 庁舎の使用や停電等、業務資源の備蓄
- ICT-BCPの策定検討による行政デ

課題②津波・高潮の浸水想定区域に要配慮者利用施設の立地がみられる

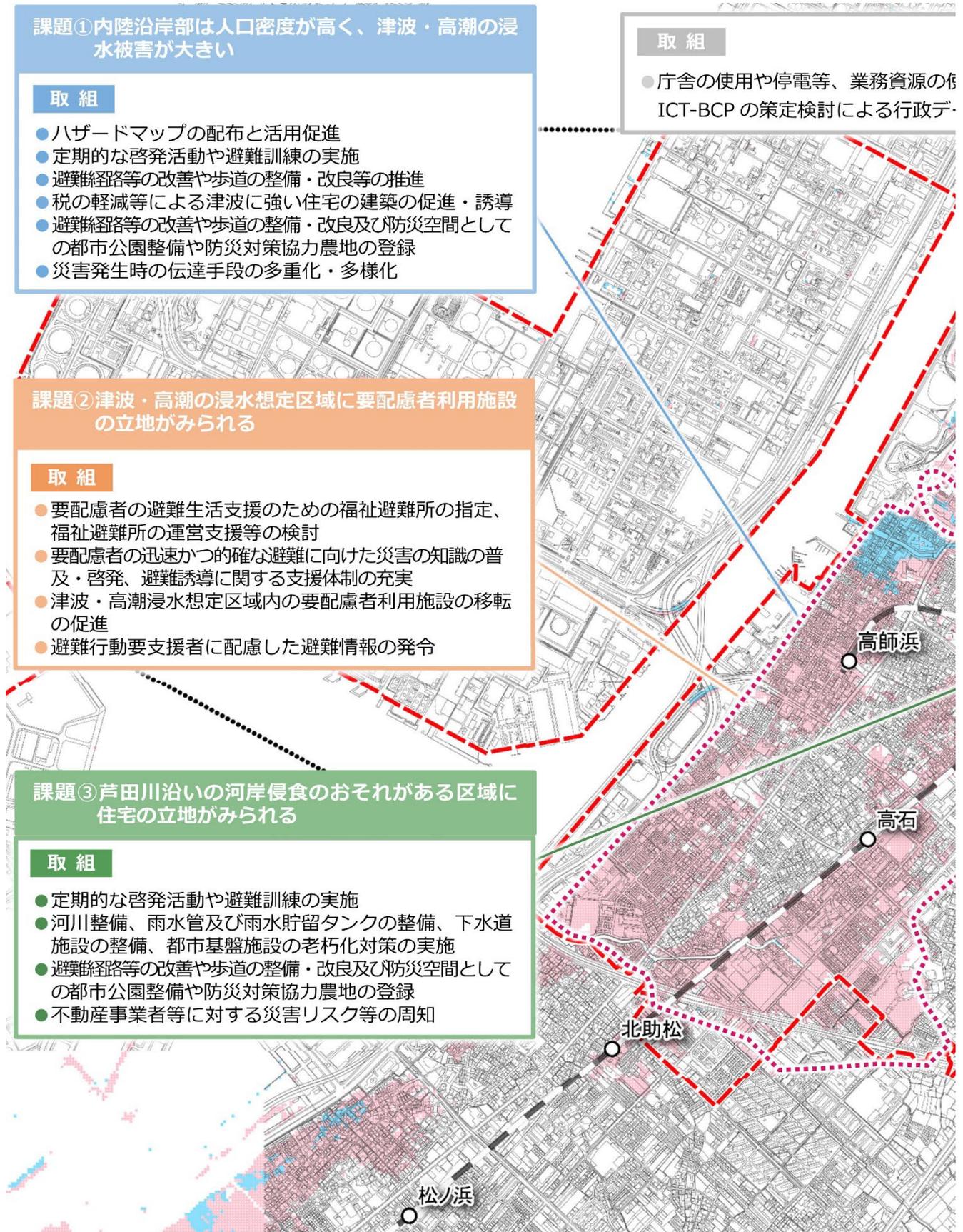
取組

- 要配慮者の避難生活支援のための福祉避難所の指定、福祉避難所の運営支援等の検討
- 要配慮者の迅速かつ的確な避難に向けた災害の知識の普及・啓発、避難誘導に関する支援体制の充実
- 津波・高潮浸水想定区域内の要配慮者利用施設の移転の促進
- 避難行動要支援者に配慮した避難情報の発令

課題③芦田川沿いの河岸侵食のおそれがある区域に住居の立地がみられる

取組

- 定期的な啓発活動や避難訓練の実施
- 河川整備、雨水管及び雨水貯留タンクの整備、下水道施設の整備、都市基盤施設の老朽化対策の実施
- 避難経路等の改善や歩道の整備・改良及び防災空間としての都市公園整備や防災対策協力農地の登録
- 不動産事業者等に対する災害リスク等の周知



5-1 防災 指針	5-2 水害の 基準	5-3 ハザード の整理	5-4 リスク の分析	5-5 課題の 抽出	5-6 取組 方針	5-7 取組 施策
-----------------	------------------	--------------------	-------------------	------------------	-----------------	-----------------



利用困難時における
一々のバックアップ

課題④ 高潮浸水により、3日以上孤立する区域が一部で見られる

取組

- 定期的な啓発活動や避難訓練の実施
- 不動産事業者等に対する災害リスク等の周知

課題⑤ 内陸沿岸部で、高潮浸水により、建物の2階以上の床上浸水が想定される区域がみられる

取組

- ハザードマップの配布と活用促進
- 定期的な啓発活動や避難訓練の実施
- 都市基盤施設の点検整備、老朽化対策、耐震対策等の推進
- 不動産事業者等に対する災害リスク等の周知

課題⑥ 芦田川流域付近では計画規模降雨の洪水で被害が想定される区域において、人口密度が高い区域がみられる

取組

- 定期的な啓発活動や避難訓練の実施
- 避難経路等の改善や歩道の整備・改良等の推進
- 河川整備及び既設貯留施設、洪水調整施設の整備による時間雨量 80mm の降雨に対する床上浸水の防止

課題⑦ 芦田川流域付近では計画規模降雨の内水で住宅地が浸水するおそれがある

取組

- 定期的な啓発活動や避難訓練の実施
- 避難経路等の改善や歩道の整備・改良等の推進

凡例

- 高潮浸水想定区域(3.0m 以上)
- 津波浸水想定区域(2.0m 以上)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域